

科目名		教育心理と教育評価			担当教員名	中村 飛鳥
該当DP	1	単位数	1単位	選択	配当年次	2年次・第3セメスター(後半)
曜日・時限		金曜日・6限目			教室	オンライン授業
授業概要		最近の教育現場での課題を教育心理学的立場より、いくつかのトピックに分けて解説する。子どもたちを認知的発達や個人的特性、性格や障害など、様々な角度から学習することにより、多角的視点からの受け入れと評価の方法を体験やディスカッションを通して学修する。				
到達目標		1) 人間の発達と学習過程における心理的な特徴についての基本的知識及び必要な理論を説明できる。 2) 教育評価の基本的知識及び必要な理論を説明でき、講義・演習・実習の評価方法を活用できるようになる。 3) 学習者の発達の課題、認知的特性、性格特性などについて説明、評価できる。				
回	日程	見出し	内 容			実践的な 授業方法
1	6/21	ガイダンス／教育心理分野の動向について	シラバスと評価基準の説明。 最近の教育心理分野での動向について。			
2	6/28	発達の理解	人間の発達と学習過程における心理的な特徴についての基本的知識及び必要な理論を学ぶ。[ディスカッション]			○
3	7/5	学習の理解	条件付け、記憶、適正処遇相互作用について学び、学習過程における心理、個性と学習方法について考える。[ディスカッション]			○
4	7/12	性格の理解と評価	性格の捉え方、測定方法と評価、注意点について、いくつかの尺度を体験して学ぶ。[ディスカッション]			○
5	7/19	教育評価の方法	教育評価の基本的知識及び必要な理論を学び、思考力・判断力などの高次の学力を評価する方法について考える。[ディスカッション]			○
6	7/26	障害の理解	特に発達障害について学び、障害の特徴や特性、インクルーシブ教育、心の理論について理解を深め、様々な人に対してどのように接していくかを考える。[ディスカッション]			○
7	8/2	教育現場での課題	学校の現場で問題となっている事象(いじめ、不登校、外国ルーツ、性の多様性)について様々な取り組みを紹介し、我が事として事象を捉え考える。[ディスカッション]			○
8	8/9	集団の理解と評価	PM理論を元にどのように指導者と学習者の関係を築いていくのが望ましいか、またどのように適切に評価していくかについて理解を深める。[ディスカッション]			○
キーワード		教育心理, 教育評価, 発達段階, 教育病理, 学級集団		履修条件	なし	
教材等	教科書(要事前購入)	教科書は特に指定しない。講義で使用する資料は適宜配布する。				
	参考書(任意購入)	講義中に参考図書等を紹介する。				
成績評価方法(%) [評価のポイント]		①レポート(50%)、②討議への参加・貢献度(50%) [①キーワードに挙げた項目の理解度、②質疑での積極性・発言内容]				
授業時間外に必要な学修		各授業の前後で、取り組むべき課題(予習・復習)を発表する。				
学生へのメッセージ		この授業では、毎回、簡単なクイズとミニレポートをGoogleFormで提出してもらいます。クイズやレポートに必要なまとめ情報は授業の最後にお知らせする予定です。				

※ 授業の日程については変更する場合があります。